

Egyptair 日本地区GSAアルシンシアが移転

Egyptair (MSR) の日本地区のGSA(貨物販売総代理店)アルシンシアは11月1日から事務所を下記に移転した。電話番号の変更はない。

株式会社アルシンシア

住所: 〒103-0014 東京都中央区日本橋堀越町1-37-12
Park Axis 日本橋 308
TEL: 070-6576-4747 / 03-6667-4453

JAL ベトナム Hanoi 空港の上屋を移転

日本航空(JAL)の貨物部門JAL Cargoは、Hanoi Noi Bai 空港の貨物事務所 / 上屋を12月1日から下記に移転、同日からハンドリングを開始する。

■新事務所・貨物上屋の住所・連絡先:

委託先: ALS Cargo Terminal Co. Ltd. (ALSC)
事務所: Room 361, 3rd floor, ALS Cargo Terminal,
住所: ALS Cargo Terminal, Noi Bai International Airport,
Phu Minh, Soc Son, Hanoi
TEL: +84-4-3886-6392, FAX +84-4-3584-3383

■保冷施設:

温調庫×4台
冷蔵庫×2台(3m×2.4m×2.6m / +15~+20℃, 5m×3m×3m / +2~+15℃)
冷凍庫×2台(5m×3m×3m / -9~+2℃ / -20℃~0℃)

■危険物・貴重品・動物の取扱: 到着貨物について特に制限はない

■J PRODUCTSの取扱: J SPEED, J PRIORITY等の J PRODUCTS が利用可能。
※その他詳細については JAL Cargo 予約・営業担当まで問い合わせ。

その他

LCAG DB Schenkerとの提携でCO2をさらに1万トン削減

Lufthansa Cargo (LCAG)とDB Schenkerは、戦略的なパートナーシップによる、CO2排出量の削減をさらに推進する。

両社は5年間でCO2排出量を1万トン削減しているが、両社が昨年合意したCO2削減協定の強化に基づいて、2020年までにさらに1万トンの削減をめざすとしている。

LCAGはB777F×5機を導入しているが、同社の貨物機は、100kgの貨物輸送に対し、100kmの走行距離で燃料消費量は平均1.89リットルに抑えられているという。

Volga Dnepr 中部からBoeing工場へB767部品を輸送

Volga Dneprグループはこのほど、中部空港から米ワシントン州SeattleにあるPaine Field空港に、B767用のコンポーネントを輸送したと発表した。同グループは、Boeingと長期のロジスティクス・サポート契約を締結している。

B767用コンポーネントは長さ14m / 幅2.4m / 高さ4mと規定を超える大きさで、他の航空機部品やその他の機器とともに海上コンテナに積み込まれ、Antonov124-100に搭載された。貨物総重量は35トンで、Boeing Supply Chain Logisticsが輸送コーディネートをを行った。貨物は中部空港からPaine Fieldに到着後、24時間以内に隣接するBoeingのEverett工場に搬入された。

Dragonair “Cathay Dragon”に名称変更

Cathay Pacific Airways (CPA) グループのHong Kong Dragon Airlines (HDA)は、2016年11月21日付けで名称を“Cathay Dragon”に変更した。CPAグループは1月28日にHDAの名称変更を発表していた。Cathayブランドの認知度をさらに高めるとともに、中国・アジアおよび以遠へのネットワークの充実の認知、サービスの改善を図っている。

TransAsia 会社解散、事業停止を正式に発表

台湾籍航空会社のTransAsia Airways (台湾名:復興航空、TNA)は11月22日、台北市内で臨時取締役会を開催、その後の記者会見で同社の解散を発表した。

解散決定の要因には、2014年7月と2015年2月の墜落事故をきっかけに財務状況が悪化したことを挙げた。

経営状況の悪化を受けて同社は、投入機材の変更や、傘下の格安航空会社であるV Airの運航停止などで再建を図ってきた。しかし、2016年は第3四半期末までの累計で22億台湾ドル(約77億円)の損失を計上、同社役員会は「現状の財務状況から厳しい判断をせざるを得なかった」としている。

フォワード関連

国内関連

佐川GL 福岡県須恵町に新物流センター開設

佐川グローバルロジスティクス(佐川IGL)は、九州エリアの戦略拠点として福岡県糟屋郡須恵町に「須恵営業所」を新設、併設する倉庫(3万2216㎡)で11月1日から物流センター業務を開始した。同センターでは、近接するSGHグローバル・ジャパンの輸出入業務や、SGムービングによる特殊貨物・大型貨物の配送業務と連携して、国内外一貫物流サービスを提供する。

また静脈認証によるセキュリティシステムの導入のほか、全館LED照明による消費電力の削減(蛍光灯比でCO2を年間115トン削減)や壁面へのサンドイッチパネル使用による断熱効果の向上など、センター内の環境整備も進んでいる。

■佐川グローバルロジスティクス(株) 須恵営業所

住所: 〒811-2111 福岡県糟屋郡須恵町新原16-10
構造: 鉄骨造3階建て

FedEx 日本法人をジャパンに一本化へ

FedExはこのほど、日本法人のフェデラルエクスプレスコーポレーションの関連事業を、2017年2月1日付け(予定)で同フェデラルエクスプレスジャパン株式会社に譲渡すると発表した。現在、FedExコーポレーションは日本における航空業務を、FedExジャパンは配送業務を主に行っている。

GSA Asiacargo 「Triple I (トリプルアイ)」に社名変更

Thai AirAsia Xの日本地区貨物販売代理店であるGSAアジャカーゴ(株)は、11月1日から社名をTriple I International Japan (株)に変更している。住所は下記の通り。

■Triple I International Japan Co., Ltd. (トリプルアイ インターナショナル ジャパン)

住所: 〒282-0021 千葉県成田市駒井野字天並野2139-1
日航貨物ビル310号
TEL: 0476-32-9888 FAX: 33-1520

JPサンキュウ 仕立地に小松・鹿児島を追加

JPサンキュウ グローバル ロジスティクスは、11月2日付けで国土交通省から第二種貨物利用運送事業の事業計画および集配事業計画の変更について認可を受けた。

輸送する仕立地について、これまでの個別の記載から、「TC-1、TC-2、TC-3」を包括的記載へ変更した。

また、仕立地については、現在の東京 / 大阪 / 名古屋 / 福岡の4地点に新たに小松発と鹿児島発を追加して計6カ所に増加した。これにより北陸、南九州から国際輸送サービスが提供できるようになったとしている。

セイノー / 阪急阪神 業務・資本提携へ協議開始

セイノーホールディングス(セイノー)と阪急阪神ホールディングス(阪急阪神)は11月18日、業務提携および資本提携に関する基本協定書を締結し、協議を開始したと発表した。

セイノーは物流拠点間の路線トラック便で国内トップシェアを占め、20万社以上の法人顧客と取り引きしている。一方、阪急阪神は主に京阪神地区を基盤に、都市交通事業や不動産事業を中心に幅広い分野の事業を展開している。

提携の効果について、セイノーは、阪急阪神が展開する各種事業の物流需要への対応を通じた事業の拡大・強化を、また阪急阪神は、強力な国内物流網を有するセイノーとの連携による物流事業強化のほか、沿線の商流・物流の活性化による沿線価値の向上が見込める、としている。

資本提携については、両社はそれぞれ取得総額10億円をめどに相互の株式を持ち合うことで合意している。株式の取得方法や時期などについては今後、協議のうえ決定する。

米州関連

K+N 医薬品の定温輸送網を San Juanにも拡大

Kuehne+Nagel (K+N)は11月3日、医薬品やヘルスケア製品の定温輸送サービスであるKN PharmaChainのネットワークを、プエルトリコのSan Juanに拡大したと発表した。

新たにSan Juanに開設した温度管理倉庫を含めて、K+Nは医薬品物流の国際的な品質基準を満たした拠点施設ネッ

トワークを、世界150カ所以上に張りめぐらせている。

San Juan倉庫では2~8℃の温度帯での保管が可能で、貨物積み替え時にもドライアイスや蓄冷材を利用した温度管理を徹底し、365日・24時間の庫内温度のモニタリングを実施するほか、GPSによる貨物の位置情報も管理している。また、顧客に対してWebサイトで貨物の入出庫状況や温度情報を可視化するサービスも提供している。

UPS 米Atlantaに11万㎡の地域ハブ建設へ

UPSは11月10日、米ジョージア州のAtlanta西部に4億ドルを投じて、11万1500㎡の地域ハブを建設すると発表した。

2018年末までにフル稼働する計画で、完成するとUPSの米国内ハブとしては、3番目の大規模施設となる。

建設されるハブは、最新鋭の仕分け機を導入、延べ24kmのコンベア上を1時間当たり10万個の小包みが流れ、6つの自動読み取り機が1秒当たり3個の小包みのラベル情報を読み取って仕分け、高度に自動化した施設になるとしている。

UPS 米Jacksonvilleのハブ施設を大幅拡張へ

UPSは11月11日、米フロリダ州Jacksonvilleの物流ハブについて、1億9600万ドルを投じて床面積を2万4000㎡拡張するとともに、自動化を図ると発表した。

完成予定の2019年秋以降は、最新鋭の仕分け機を導入することなどにより、仕分け能力が約33%向上し、1時間当たり8万個以上の小包が取り扱えるようになるとしている。

平野ロジ 新型トレーラ「+8」が横浜港に到着

平野ロジスティクスが2017年1月から導入を予定している新型トレーラ「+8」(プラスエイト、=写真)が、このほど横浜港の大黒埠頭に到着した。同車両はAntwerpでの積み出されたもの。

「+8」は、平野ロジスティクスがことし4月に運行を開始した「+7」(プラスセブン、荷台部分を2層構造にした超低床タイプのトレーラ車)よりも、さらに1基多い14基のLD3コンテナを搭載できる新型車。通常のトレーラよりも同コンテナを8基多く積めることから「+8」と名付けられた。

到着した車両はことし9月末にドイツ開催された「IAA ノーバー国際モーターショー(商用車)」で展示されたもので、日本航空(JAL)の貨物部門JAL Cargoのロゴがデザインされた看板車となっている。平野ロジスティクスでは、車検などの各種手続が整い次第、来1月をめどとして運行開始する予定。車両はJAL貨物専用車として、成田~羽田を中心とする国内空港間の保税輸送用に、平野ロジが運行する。

